

授業科目名	合唱Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ A、B、D	担当形態	演習 クラス分け		
		開講学期	秋学期		
担当教員	荻野 砂和子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

大合唱によってアンサンブルする力を身に着ける
 同じ時間、空間で、声を合わせてハーモニーを作り表現する
 歌いことを通じ、協調することの大切さを養っていく

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を各自で持ってくる事。人に見せてもらう事を禁止します
 持参しない場合は授業を受けることができません
 出席は授業開始時に取ります。遅刻は原則として認めません。
 次回の履修曲を予告しますので、読譜してくる事。

＝授業の概要＝

毎回の授業では、まず発声練習から入ります。
 その後、呼吸法のチェック、ハーモニー練習を行います。
 ここで、声を合わせて歌う準備をし、実際の曲の練習に入ります。
 混声合唱なので、パート練習の時間を取った後、全体のアンサンブルに入っていきます。
 履修曲の習熟度を見ながら、新しい曲に進んでいきます。

＝授業計画＝

- 1、 ガイダンス（授業の進め方などについての説明する）
発声練習のあと、パート分けをし、ハーモニー練習
- 2、 「初心のうた」パート練習、アンサンブル
- 3、 「初心のうた」アンサンブル、歌い込み
- 4、 「自由さのため」パート練習、「初心のうた」歌い込み
- 5、 「自由さのため」アンサンブル、歌い込み「初心のうた」しあげ
- 6、 「自由さのため」歌い込み、「とむらいのあとは」パート練習
- 7、 「とむらいのあとは」アンサンブル、パート練習「自由さのため」仕上げ
- 8、 「とむらいのあとは」アンサンブル、歌い込み
- 9、 「でなおすうた」パート練習
- 10、 「でなおすうた」パート練習、アンサンブル
- 11、 「泉のうた」パート練習、「でなおすうた」歌い込み、
- 12、 「泉のうた」パート練習、アンサンブル、「出直す歌」歌い込み
- 13、 「泉のうた」歌い込み、履修曲の復習、グループ別発表曲の確定
- 14、 グループ別発表曲を中心に練習、
- 15、 グループ別発表

＝テキスト（必携）＝

音楽之友社 出版
 信長貴富 作曲
 混声合奏とピアノのための
 「初心のうた」

＝参考書・参考資料（必携）＝

無し

=成績評価の方法と評価の基準=

演習という授業形態なので、出席状況が大きな基準になります
授業内で行う1パートひとりずつのグループでの発表で習熟度をみます

=その他=